

現場説明書（技術的事項）

工事名 福山市立内海保育所保育室冷暖房設備改修工事

1 現場の状況

- (1) 工事場所は、福山市立内海保育所敷地内です。
- (2) 保育所の業務中の工事になります。

2 留意事項

- (1) 本工事の受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。
- (2) 工事期間中は安全に細心の対策を講じてください。
構内管理については、監督員との協議、調整を十分に行ってください。
特に搬入出時の車両の通行には、細心の注意を払ってください。
- (3) 重機や工事車両出入時は、徐行運転及び一旦停止を行ってください。
- (4) 工事で既存工作物等に損傷を与えないように対策を講じてください。なお損傷を与えた場合には、監督員と協議のうえ、速やかに復旧してください。
- (5) 工事施工前には、事前に既存の施設状況を確認し、監督者と協議を行ってください。また、施設を運用しながらの施工となるため、施設管理者と協議し、工程管理を十分検討し、承諾を得て施工してください。
- (6) 工事施工上必要となる官公署への手続きは、受注者により速やかに行ってください。
- (7) 実施工程表を、契約後 14 日以内に提出するとともに、速やかに承認図、施工計画書等の承諾を受けてください。
- (8) 本工事は、建設リサイクル法の対象工事には該当しませんが、特定建設資材の再資源化に努めるとともに、産業廃棄物は適切に処理してください。また、建設副産物入力システム（COBRIS）の計画・実施報告書を提出してください。
- (9) 工事中は、防塵・防音等に努め、必要な養生措置を講じてください。
- (10) 朝及び夕方の送迎時間帯は、細心の安全対策を行うとともに工事車両等の通行は施設管理者と協議の上行ってください。
- (11) 別途工事業者との調整を行い、円滑な工事の遂行に努めてください。

3 別途工事

- ・電気設備工事
- ・建築工事

4 工事における「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025」ロゴの標示について

「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025」が 2025 年 5 月 18 日から 24 日にかけて開催されま

す。ついては、周知と機運醸成を図るため、工事現場に掲げる標識として、大会ロゴの標示のご協力をお願いします。

- (1) 使用するロゴは「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025 ロゴ利用規程」に沿った指定のデザインとしてください。
- (2) 「第 20 回世界バラ会議福山大会 2025 ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要です。
- (3) 使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意してください。
- (4) 大会ロゴの標示は任意事項とし、標示する際は、発注課へ連絡してください。
- (5) ロゴ標示期限は 2026 年（令和 8 年）3 月 31 日です。
- (6) デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へ問合せってください。

5 墜落制止用器具の着用について

労働安全衛生法施行令第 13 条第 3 項第 28 号における墜落制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」（平成 31 年 1 月 25 日厚生労働省告示第 11 号）による墜落制止用器具（フルハーネス型墜落制止用器具、胴ベルト型墜落制止用器具及びランヤード等）としてください。

福山市立内海保育所保育室冷暖房設備改修工事

図面番号	図面名称	縮尺
	表紙、図面目録	—
M-1	機械設備工事特記仕様書No. 1	—
M-2	機械設備工事特記仕様書No. 2・付近見取図	—
M-3	平面詳細図・機器仕様表	1:400, 1:50

主務	施設担当 次長	保育環境 課長 整備担当	保育施設 課長	保育施設 部長
----	---------	-----------------	---------	---------

福山市機械設備工事特記仕様書

Table with 2 columns: 1 工事概要 (Project Overview) and 2 建築基準法施行規則に定める主要用途区分 (Building Standards Act Implementation Rules on Major Purpose Divisions).

Table with 2 columns: 3 附属施設 (Accessory Facilities) and 4 消防法令に基づく防火対象物 (Fire Protection Objects under Fire Protection Laws).

Table with 2 columns: 5 工事項目 (Work Items) and 6 設備概要 (Equipment Overview).

Table with 2 columns: 7 設備概要 (Equipment Overview) and 8 機械設備工事仕様 (Mechanical Equipment Work Specifications).

Table with 2 columns: 9 共通仕様 (General Specifications) and 10 特記仕様 (Special Specifications).

- 1 官庁手続き (Official Procedures)
2 地元企業及び地場製品の活用 (Utilization of Local Companies and Products)
3 疑義に対する協議等 (Agreements on Doubts)
4 特記仕様 (Special Specifications)
5 引渡し後、次に示す点検を行う。(〇印のついたものを適用する。)

Table with 2 columns: 11 項目 (Item) and 12 事項 (Matters).

Table with 2 columns: 13 工事項目 (Work Item) and 14 仕様 (Specifications).

Table with 2 columns: 15 項目 (Item) and 16 仕様 (Specifications).

Table with 2 columns: 17 項目 (Item) and 18 仕様 (Specifications).

- 9 完成時の提出図書 (Deliverables at Completion)
10 関連工事等の調整等 (Adjustments for Related Work)
11 足場 (Scaffolding)
12 施工中の安全確保 (Safety Assurance During Construction)
13 工事実績情報システム (Construction Performance Information System)

Table with 2 columns: 14 項目 (Item) and 15 仕様 (Specifications).

Table with 2 columns: 16 項目 (Item) and 17 仕様 (Specifications).

Table with 2 columns: 18 項目 (Item) and 19 仕様 (Specifications).

Table with 2 columns: 20 項目 (Item) and 21 仕様 (Specifications).

- 1 工現場仮囲い (Temporary Site Enclosure)
2 受注者事務所等 (Contractor's Office, etc.)
3 工事用水 (Construction Water)
4 工事用電力 (Construction Electricity)
5 引渡しまでの光熱水費 (Utilities until Handover)

Table with 2 columns: 22 項目 (Item) and 23 仕様 (Specifications).

Table with 2 columns: 24 項目 (Item) and 25 仕様 (Specifications).

Table with 2 columns: 26 項目 (Item) and 27 仕様 (Specifications).

Table with 2 columns: 28 項目 (Item) and 29 仕様 (Specifications).

給排水衛生凡例 (General Examples for Water Supply, Drainage, and Sanitation)

空気取入れ例 (Examples of Air Intake)

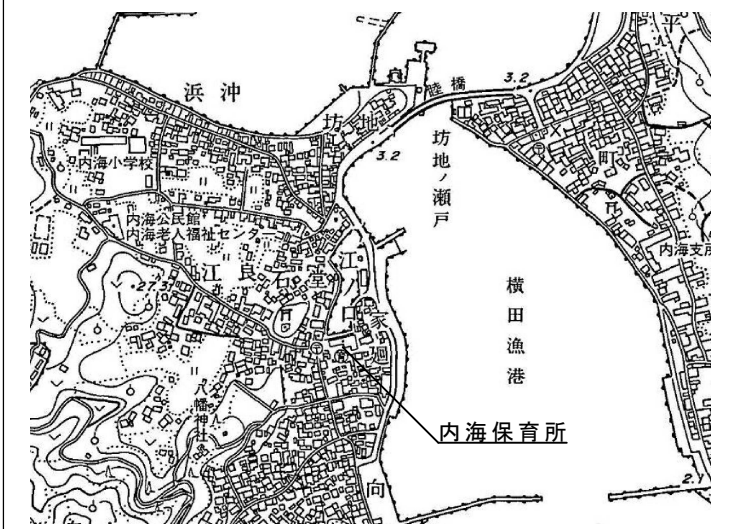
各種配管の記号 (Symbols for Various Pipes)

各種機器の記号 (Symbols for Various Equipment)

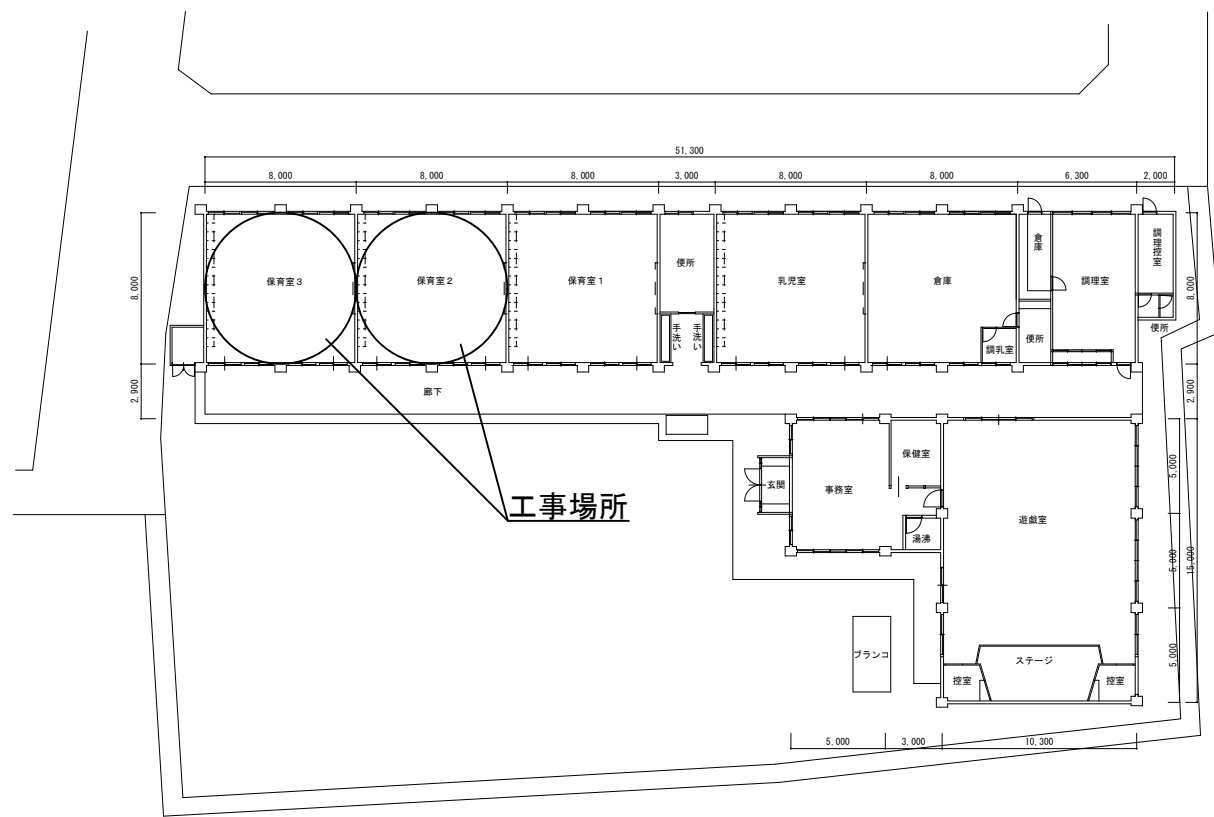
排水設備	(屋内)	1 管 (第1層まで) <ul style="list-style-type: none"> ※硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP (露出部 カラーVP) 排水用給管 (SHASE-S203) コーティング鋼管・結露防止層付塩化ビニル管 耐火二層管・建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP
	(屋外)	5 方式 <ul style="list-style-type: none"> 自然排水・ポンプ排水
給湯設備	1 管	<ul style="list-style-type: none"> 鋼管 (JIS H 3300) (Mタイプ・Lタイプ) 被覆鋼管 (呼び径20までとする) 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW 保温付被覆鋼管 (JIS H 3300の外面に発泡断熱材(14mm以上)で被覆したもの) 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304 架橋ポリエチレン管 ポリブテン管
	3 弁	<ul style="list-style-type: none"> JIS 10K・JIS 5K
消火設備	1 管	<ul style="list-style-type: none"> 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW 圧力配管用炭素鋼鋼管 (第2種亜鉛メッキ製品) (JIS G 3454) STPG 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (WSP 041) SGP-VS <p>※消火用配管は、消防法令に適合するものとする。</p>
	3 消火栓箱	<ul style="list-style-type: none"> 総合形 (HB-1A・HB-1B)・単独形 (HB-2A・HB-2B) 総合形 (HB-4A・HB-4B)・消火器併設形 (HB-1AS・HB-1BS) ステンレス製 ()・鋼板製 ()
浄化槽設備	1 処理種別	<ul style="list-style-type: none"> 小規模合併処理・合併処理・単独処理槽 放流水質 (BOD mg/l 以下・COD mg/l 以下・T-N mg/l 以下・T-P mg/l 以下) 分離接触ばっ気方式・長時間ばっ気方式・分離ばっ気方式 その他 ()
	2 構造	<ul style="list-style-type: none"> ユニット型 () 人槽 /日 現場施工型 () 人槽 /日

ガス設備	1 種別	<ul style="list-style-type: none"> 都市ガス 液化石油ガス 																			
	2 管	<ul style="list-style-type: none"> 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) (白管) 圧力配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3454) (黒管) ガス用ステンレス鋼フレキシブル管 ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774) ポリエチレン被覆鋼管 (JIS G 3469) 塩化ビニル被覆鋼管 																			
空調設備	1 設計条件	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">条件</th> <th colspan="2">屋外</th> <th colspan="2">屋内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>35.0 °C</td> <td>67.1 %</td> <td>28.0 °C</td> <td>50.0 %</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>0.1 °C</td> <td>71.5 %</td> <td>19.0 °C</td> <td>40.0 %</td> </tr> </table> <p>※湿度調節機能がない設備については、成行とする。</p>	条件	屋外		屋内		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏季	35.0 °C	67.1 %	28.0 °C	50.0 %	冬季	0.1 °C	71.5 %	19.0 °C	40.0 %
	条件	屋外		屋内																	
温度 (DB)		湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																	
夏季	35.0 °C	67.1 %	28.0 °C	50.0 %																	
冬季	0.1 °C	71.5 %	19.0 °C	40.0 %																	
2 冷水・温水・冷却水	<ul style="list-style-type: none"> 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW 配管用炭素鋼鋼管 (白管) (JIS G 3452) SGP 膨張・補給水管 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (JIS G 3452) SGP 断熱材被覆鋼管 (JCDA0009) 																				
換気設備	1 ダクト	<ul style="list-style-type: none"> 低圧ダクト (スパイラルダクト・コーナーボルト工法 (共板・スライド・アングル工法) とする) 厨房系統の排気用ダクトは標準仕様書よりも一層手厚いものを使用する。 厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。 グラスウールダクト (円形ダクト) (注: 火気使用室、多湿箇所は使用不可) 																			
	2 風量測定口	<ul style="list-style-type: none"> 取付位置は (図示した位置) 同心送風機吐出ダクト又は吸込ダクト・外気取入れダクト とする。 																			

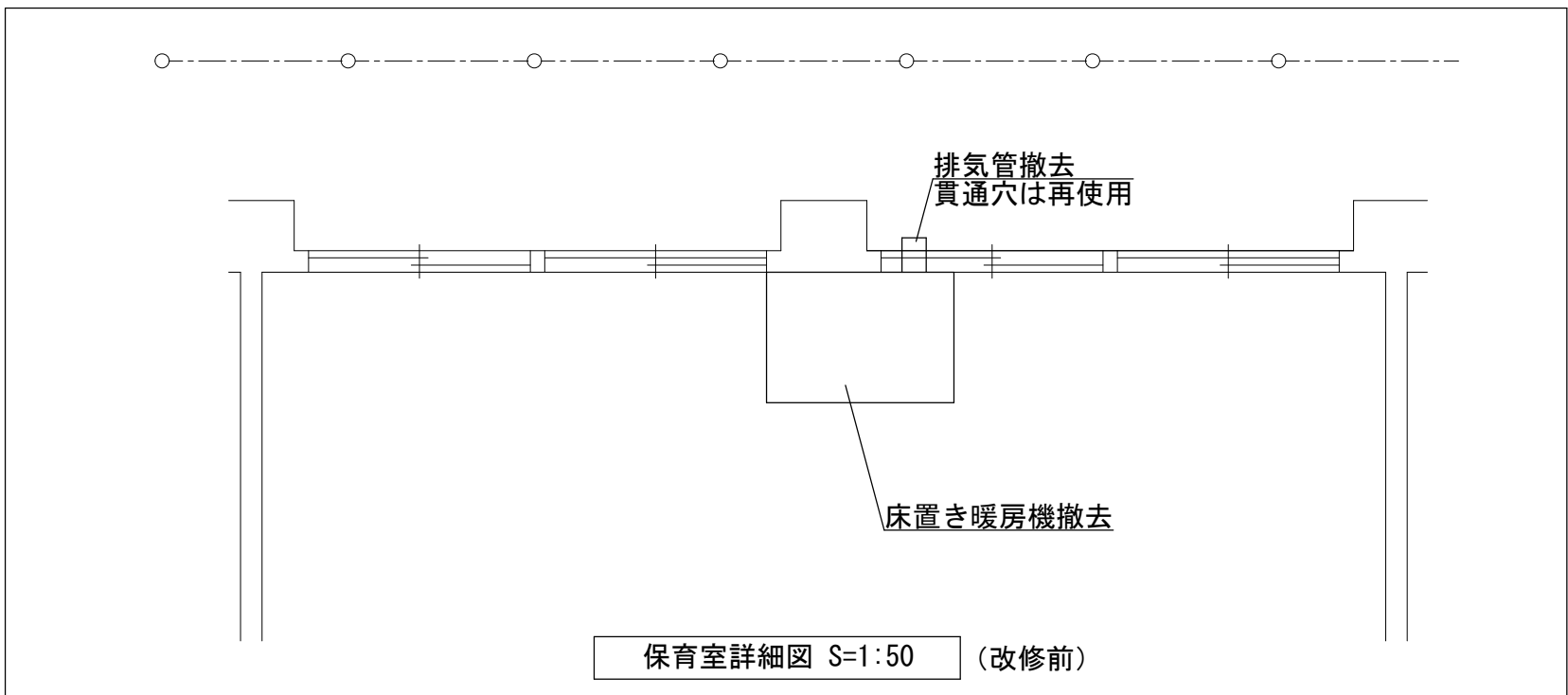
自動制御設備	1 中央監視制御装置	<ul style="list-style-type: none"> 有り (構成機能図は図示による) 無し 																			
	2 電源装置	<ul style="list-style-type: none"> 要 (本工事・別途工事) 不要 																			
給湯設備	1 方式	<ul style="list-style-type: none"> 単管式・復管式 																			
	2 管	<ul style="list-style-type: none"> 鋼管 (JIS H 3300) (Mタイプ・Lタイプ) 被覆鋼管 (呼び径20までとする) 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW 保温付被覆鋼管 (JIS H 3300の外面に発泡断熱材(14mm以上)で被覆したもの) 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304 架橋ポリエチレン管 ポリブテン管 																			
空調設備	1 設計条件	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">条件</th> <th colspan="2">屋外</th> <th colspan="2">屋内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>35.0 °C</td> <td>67.1 %</td> <td>28.0 °C</td> <td>50.0 %</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>0.1 °C</td> <td>71.5 %</td> <td>19.0 °C</td> <td>40.0 %</td> </tr> </table> <p>※湿度調節機能がない設備については、成行とする。</p>	条件	屋外		屋内		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏季	35.0 °C	67.1 %	28.0 °C	50.0 %	冬季	0.1 °C	71.5 %	19.0 °C	40.0 %
	条件	屋外		屋内																	
温度 (DB)		湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																	
夏季	35.0 °C	67.1 %	28.0 °C	50.0 %																	
冬季	0.1 °C	71.5 %	19.0 °C	40.0 %																	
2 冷水・温水・冷却水	<ul style="list-style-type: none"> 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW 配管用炭素鋼鋼管 (白管) (JIS G 3452) SGP 膨張・補給水管 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (JIS G 3452) SGP 断熱材被覆鋼管 (JCDA0009) 																				
換気設備	1 ダクト	<ul style="list-style-type: none"> 低圧ダクト (スパイラルダクト・コーナーボルト工法 (共板・スライド・アングル工法) とする) 厨房系統の排気用ダクトは標準仕様書よりも一層手厚いものを使用する。 厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。 グラスウールダクト (円形ダクト) (注: 火気使用室、多湿箇所は使用不可) 																			
	2 風量測定口	<ul style="list-style-type: none"> 取付位置は (図示した位置) 同心送風機吐出ダクト又は吸込ダクト・外気取入れダクト とする。 																			



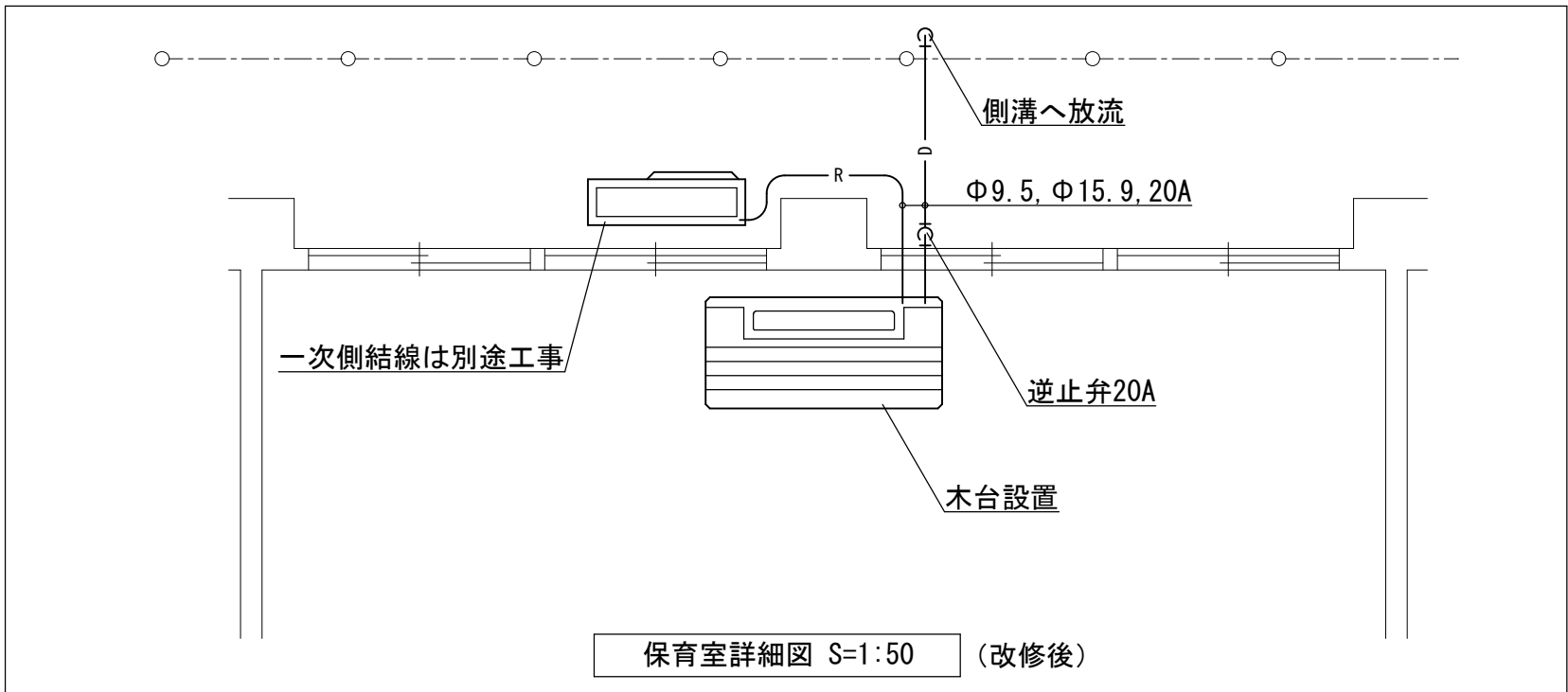
付近見取図 N.S.



内海保育所 配置図 1:400



保育室詳細図 S=1:50 (改修前)



保育室詳細図 S=1:50 (改修後)

機器仕様		
設置箇所	保育室 2	保育室 3
形式・形状	空冷式エアコン (シングル)	空冷式エアコン (シングル)
室内機	床置き 1台	床置き 1台
室外機	床置き 1台 耐塩害仕様	床置き 1台 耐塩害仕様
冷房能力	14.0kW	14.0kW
暖房能力	16.0kW	16.0kW
冷媒	R32	R32
電源	3φ200V	3φ200V
台数	1組	1組
リモコン	室内機付属	室内機付属
室内外渡り線	EEF1.6-3C	EEF1.6-3C
基礎	架台新設 (平地自在置用)	架台新設 (平地自在置用)
備考	室内機転倒防止金具設置	室内機転倒防止金具設置
	室外機転倒防止金具設置	室外機転倒防止金具設置
	グリーン購入法適応品	グリーン購入法適合
	2015年省エネ法適応品	2015年省エネ法適応品
	予備フィルター	予備フィルター
	ドレンポンプキット	ドレンポンプキット

配管凡例

記号	管種	配管場所	管材		保温
—D—	ドレン管	屋内配管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6741	グラスウール+アルミガラスクロス
		屋外配管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6741	カラーVP
—R—	冷媒管	屋内配管	断熱材被覆銅管	JCDA 0009	合成樹脂カバー
		屋外配管	断熱材被覆銅管	JCDA 0009	グラスウール+SUS鋼板

参考数量書

§ 工事名称 福山市立内海保育所保育室冷暖房設備改修工事

§ 工事場所 福山市内海町1080番地2

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事建築数量積算研究会制定)

※ 「建築設備数量積算基準・同解説」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

設計書

工事名称 福山市立内海保育所保育室冷暖房設備改修工事

工事場所 福山市内海町1080番地2

【工事概要】	
・冷暖房設備工事	一式
・撤去工事	一式
・発生材処理	一式
【別途工事】	
・建築工事	一式
・電気設備工事	一式

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

機械設備工事									
名	称	数	量	单	位	金	額	備	考
空気調和設備		1		式					
撤去工事		1		式					
発生材処理		1		式					
	計								

機械設備工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
空調設備	機器設備	1	式		
空調設備	配管設備	1	式		
計					
撤去工事		1	式		
計					
発生材処理		1	式		
計					

機械設備工事		空気調和設備		機器設備		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ハッジエアコン 耐塩害仕様	冷房能力14.0kW、暖房能力16.0kW 室内機：床置形 室外機：床置形 附属品含む 材工共	2	台			
計						

機械設備工事		空気調和設備		配管設備		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
冷媒用 断熱材被覆銅管	9.52外径(3/8B) 液管 厚8mm	6	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管	15.88外径(5/8B) ガス管 厚20mm以上	6	m			
冷媒管 保温	グラスウール 屋外露出,浴室 スルス鋼板 100A	4	m			
冷媒管 保温	ロックウール 屋内露出 合成樹脂製加 ¹ -1 100A	2	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 20A	6	m			
機械はつり(ダクト フックによる 配管用貫通口)	200mm程度 100mm	2	か所			
ドレン用逆止弁	20A 材工共	2	個			
計						

機械設備工事		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生材処分費	特定建設資材以外	0.5	t			
計						